

# ふる里からの「ふくろうだより」6月号

今年の指針  
“輝”

## “湖畔の宿ふる里”神事式で祈願！

ミニ特養“湖畔の宿 ふる里”のスタートは、当初、6月1日としていましたが、ちょっと遅れています。竣工引き渡しはしたものの、竣工イベントも開催できないでいます。隆明会役員の皆さんや、全職員、職員の知人など多くの方々と一緒に食事しながらの談笑を願っていましたが、コロナウィルスのせいで出来ないままです。一方、施設の見学は、「万障繰り合わせなく…」と、これもまた、コロナウィルスのせいで、一堂に会しての見学会を控えざるを得ませんでした。しかし、そのおかげで事業所の方や個人方の“見学”がゆっくり納得いくまで説明を聞かれながら、全ての部屋を見て頂けるので、建築の特色や介護ロボットの特徴など細部に亘って見学していただけました。開設引渡し以来、多くの見学者が見えられています。もちろん、デイサービスセンターやA型利用者の方々も見学されました。見学に来られた多くの方々からは、先ず環境の素晴らしさに感動されていました。建物と、みかん畑のマッチング。窓から見える葛城の堤の美しさ、屋上から広がる景色の壮大さに驚かれます。昨年のふくろうだよりにも書いていますが、“湖畔の宿 ふる里”からは、大村中の景色が一望に見ることが出来ます。大村湾、長崎自動車道、長崎空港、大村ポート場、遠くは西彼杵や佐世保針尾の無線塔、新幹線が開通すれば、竹松の車両場から新大村駅までの新幹線の動きまで、とにかく素晴らしい景色が見渡せるのです。四季折々に大村湾が見せるダイナミックな景色、海の青と夕陽の赤が毎日違う表情、景色をタイムリーに観ることが出来る“湖畔の宿 ふる里”は、私だけでなく、スタッフ一同の“自慢”のひとつです。

スタッフは、介護系・医療系の専門スタッフが口伝に揃って来ていて、素晴らしい職員組織になっています。今は、スタートに向け、研修を重ねていますし、組織作り、運営についての話し合いなどお互いが連携して緻密にやっていますが、一日も早く営業が開始され、早く入居者が決まって、スタッフが専門性を発揮したいようです。自慢できるスタッフばかりで、大変嬉しい限りです。私自身、スタッフの動きを毎日見ながら、スタッフの気持ちが直に伝わるようで、入居者様を安心させよう、喜ばせようという彼らの心意気を感じられ、入居者の皆さんやそのご家族が喜ばれる姿を想像し、今から心がわくわくしています。

5月31日に、竣工に際して、神様の“鎮座祭”を行いました。職員・利用者様の代表、私の家族など総勢16名で厳かに行うことが出来ました。神官様が、祝詞(のりと)を奏上され全員でお祈り。お祈りが続く中、入居者様の部屋、お風呂、医務室、厨房など全ての部屋をお払いいただきました。有難くて、有難くて。平成11年からスタートした社会福祉法人隆明会の事業は



スタッフに守られ、地域の皆様に守られ、環境や自然に守られて成長してきました。しかし、これまでの営みから、目に見えるものだけではなく、神様や仏様からの“ご縁”、“み護り”があればこそと感じずにはおれません。“鎮座祭”の祭典をして頂きながら深い感謝の気持ちが湧きました。と同時に、「スタッフと共に在り！」の精神に立ち戻ったような一日でした。 From センター長 森 隆敏



5月行事は、「あっばれ!五月晴れ!」。19日(火)、20日(水)、21日(木)の三日間行いました。昨今、コロナ感染対策の為、外出等を控えられ、気の減入る日々を過ごす中、ふる里の行事で体を動かし、大笑いすることで、少しでも気分転換になればと思い、元気になるような行事タイトルを考えました。1日目は、5月が新茶の季節という事もあり茶摘みにちなんだ「摘めよ摘め摘め摘まねばならぬ摘まにゃ日本の茶にならぬ」ゲーム。2チームに分かれ制限時間15秒で、マジックハンドを使って、お茶の葉の絵がついた緑色のプラスチックコップを背負子の中に摘み入れていき、最終的に多く得点を稼いだチームの勝ちというゲーム。目の前に対戦相手がいることで、多く得点を稼ごうと皆さん真剣に取り組まれました。職員は、籠を背負って割り箸でお茶コップを摘まんで籠に入れます。上手く入ったり入らなかったり、その姿も皆さん笑顔で楽しまれました。

## 「摘めよ摘め摘め摘まねばならぬ摘まにゃ日本の茶にならぬ」ゲーム。



二日目と三日目は、5月がゴルフ場記念日という事もあり、ゴルフにちなんだレクを行いました。「打てよ打て打て打たねばならぬ打たにゃ負けるぞナイスカップイン！」ゲーム。2チームに分かれてのチーム対抗戦。皆さんの前には、手作りの大きなグリーンホールがあり11カ所の穴には10点、30点、100点と得点があります、その穴を目掛けて3球のボールをゴルフクラブで打って点数が多かったチームが勝ちというゲーム。チームカラーの帽子を被りプレイされ、打つ時にどこを狙うといいか考える方や、普段押し車や車椅子の方も立ち上ってされるなど皆さんとても意欲的に行われてました。3日間すべてが、行事のタイトルの如く快晴で、フロアいっぱい元気な声が響き渡り、楽しく賑やかな行事となりました。

## 「打てよ打て打て打たねばならぬ打たにゃ負けるぞナイスカップイン！」ゲーム。



今回の行事で、皆さんに参加賞をお渡ししました。緑茶とほうじ茶どちらか一つとお菓子の詰め合わせです。皆さんに喜んで頂けて嬉しかったです。

行事担当 中邑 典子 松瀬 加代

## 居宅介護サービスセンター ふる里

【居宅介護サービスセンターふる里】とは…  
介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行いケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



### 6月の行事予定

◆ふる里6月行事 『晴れ晴レインボー☆クイズ大会!』  
16日(火)・17日(水)・18日(木)



- ◆生花教室 ~齊藤マサミ先生~ 9日(火)・27日(土)
- ◆書道教室 ~中村 朱実 先生~ 4日(木)・22日(月)
- ◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~今月は、ありません。  
※1 おはなしの部屋は、コロナウイルス感染予防のためお休みされます。
- ◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 23日(火)
- ◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後  
(3日、10日、24日の予定です。)



### 今月の作品



「湖畔の宿ふる里」に、5月9日(土)「ふくろうのモニュメント」が設置されました。建物に向かって二羽のふくろうが並んでいて、「湖畔の宿ふる里」全体の“安全”と“安心”を見守ってくれている様に思えました。デイの利用者の方々には、毎日送迎の時に紹介してお見せしています。また、「湖畔の宿ふる里」の施設見学を曜日別に皆さんをお連れし行いました。昨年7月の基礎工事の段階から見ていたばかりで、施設が完成する事を皆さんとても楽しみにされておられたので、見学が出来た事にとっても感動していました。

編集後記 末永直己